



ウンカ類発生状況報告書



(トビイロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
株あたり虫数	0	1~5	6~21	21~50	51以上

(セジロウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1株あたり虫数	0	1~10	11~50	51~100	101以上

(ヒメトビウンカ発生程度別基準)

※要防除水準

程度	無	少	中	多	甚
1株あたり虫数	0	1~2	3~5	6~10	11以上

(植物防疫協会 イネの病害虫より)

調査日:令和6年7月30日

調査田	捕殺数(株あたり虫数)		
	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
岸和田市積川町	0頭	0頭	0.013頭 (75株当たり1頭)
和泉市黒石町	0頭	0頭	0頭
泉大津市虫取町	0頭	0頭	0.067頭 (75株当たり5頭)

総括

今回もトビイロウンカの発生は、確認されませんでした。しかしながら、坪枯れが発生した令和 2 年は、8 月以降に急激にトビイロウンカが増加しましたので引き続きご注意ください。

また、斑点米カメムシ類やイネカメムシの発生が多発する予想となっています。

薬剤による防除を行う際は、穂揃期(出穂すべき穂のうち8~9割が出穂している時期)に行い、発生が多い時は、乳熟初期(出穂後 10 日後)にも散布するなどして防除に努めてください。



ホソハリカメムシ
→体長10mm程度



アカヒゲホソミドリカスミカメ
→体長約6mm、幅1mm



↑斑点米カメムシによる被害粒



ミナミアオカメムシ成虫
→体長15mm前後



ミナミアオカメムシ幼虫

出典:ルーラル電子図書館:病気・害虫 イネの病気・害虫 (ruralnet.or.jp)

[https://izumino-ja.ruralnet.or.jp/cgi-](https://izumino-ja.ruralnet.or.jp/cgi-bin/ruralbyougai3.php?ARG1=534b3de382a426534e3de382a4e3838d2646473d32)

[bin/ruralbyougai3.php?ARG1=534b3de382a426534e3de382a4e3838d2646473d32](https://izumino-ja.ruralnet.or.jp/cgi-bin/ruralbyougai3.php?ARG1=534b3de382a426534e3de382a4e3838d2646473d32)